



TOYOAKE

とよあけ

# 市議会だより

No.265



特集 市民と議会との意見交換会

令和7年12月定例会

2026年  
2月号

タイトル 「会いに来てネ」  
撮影場所：勅使水辺公園  
撮影日時：2025年2月17日  
写真：神谷 亨さん（香掛町）

特集

# 市民と議会との意見交換会

議会ホームページで  
報告書を公開  
しています



令和7年11月

## 豊明中学校区

**日時** 令和7年11月15日(土)  
10時00分～11時35分

**場所** 豊明市文化会館 第1会議室

**参加人数** 市民7名、議員6名



豊明中学校区報告書



### 主な意見から

- スマートフォン条例について条例化することはよいことか。理念であるならば、もっと時間をかけて審議すべき。自由時間の使い方に市が関わるのは、人権問題ではないか。
- 区長の日常活動について平日の行事に出席しづらい、休日に開催して欲しい。土日の行事については、市の職員に協力して欲しい。
- 地域で地域猫が増えて、町内でサクラ猫(去勢)している、サクラ猫にするより、譲渡会等を積極的にしてほしい。
- 前後駅周辺の開発をやって欲しい。若い人が魅力を感じてもらえるような施策を市として考えてほしい。
- 「挨拶運動」が出来ていない、「見守り」に参加して声をかけても返事が出来ない子どもが多いので、もっと推進して欲しい。

## 沓掛中学校区

**日時** 令和7年11月16日(日)  
10時00分～11時30分

**場所** 豊明市総合福祉会館 3階 大会議室

**参加人数** 市民9名、議員7名



沓掛中学校区報告書



### 主な意見から

- 小学校の通学路(上高根)にスズメバチの巣がある。市に言っても業者を紹介してくれただけ。補助金や助成金のメニューを用意してほしいし、市議会から要望してほしい。
- 地域で川ざらいをしているが参加者が高齢化している。3割程度は埋まらないと行政は動かないのでなんとかしてほしい。
- 田畑の草が人の背丈ほどに伸びている場所があるが市にお願いしても半年以上そのままになっている。火災予防の観点もあるのでやれないなら地域でやるのははっきりしてほしい。
- 歩道の植樹を減らす方向とのことだが、緑を増やして少しでも日影を作るよう議会からも言ってもらいたい。
- 高齢化で買い物に困難な方に向け市が支援して移動販売車を出してもらえるよう市への提案を考えてほしい。



令和7年11月15日(土)、16日(日)に、豊明市議会基本条例に基づき、前年度に引き続き3回目となる「市民と議会との意見交換会」を開催いたしました。

前回同様、議員が3つの中学校区に分かれ、ご参加いただいた市民の皆様と、地域が抱える課題や議会、市政に対するご意見、ご要望などについて意見を交わしました。

各会場とも貴重な意見交換の場となりました。ご参加いただきました市民の皆様にご感謝申し上げます。お聞きしましたご意見、ご要望等につきましては、今後の議会、議員の活動に活かしてまいります。

## 栄中学校区

**日時** 令和7年11月15日(土)  
10時00分～11時30分

**場所** 大脇コミュニティセンター ホール

**参加人数** 市民24名、議員7名



栄中学校区報告書

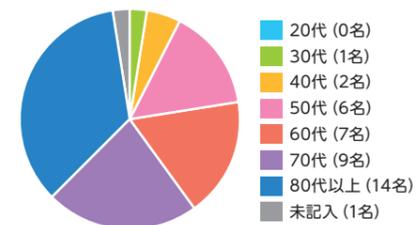


### 主な意見から

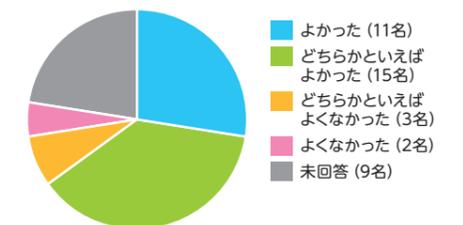
- 生活介護・日中一時支援施設を立ち上げるために現在動いている。施設建設に関連した道路整備に公的な支援を市にしてほしい。
- 桜ヶ丘掛線が整備され内山トンネル開通後、渋滞を避けて抜け道を使い、一旦停止をしない車が多くて危険。
- 部活動について、地域で支えることが大事だという雰囲気をつくっていかないといけない。スポーツ系の大学生や卒業生など指導者は探せばいるのでは。
- スマートフォン等の適正使用の条例は全国に向けた問題提起になったと思うが、スマホ条例制定後のフォローアップはどうなっているか。
- 公園遊具について、すべり台とブランコしかない。乳幼児にとっては小学生と一緒に遊べなくて遊べない。小さな子が専用で遊べるゾーンがあると安心して遊べる。落合公園や大蔵池公園にも充実した遊具の設置を希望する。

### アンケート結果

#### 年代は？



#### 内容について



### 自由記述欄より

- 土日の午前に来るのは子育て世代には難しいので、別の日程も考えてほしい。
- 「意見交換会」の参加者が少なくても、回数を増やして実施してほしい。
- 前回のフォローをしてほしい。
- もっと手軽に意見を言える場を設定してほしい。若い人でも伝えたい人はいると思う。

# 豊明市

## スマートフォン等の 適正使用の推進に関する 条例の制定について



### 背景

スマートフォン、パソコン、タブレット等は便利な機器ではある。ゲーム、SNS、動画の視聴や配信等の過度な使用は、睡眠時間減少による生活リズムの乱れといった健康面や社会生活で影響を及ぼしたり、家族間の対話が短くなる等、親子関係や家庭環境にも影響を与えたりする恐れがある。スマートフォン等の過剰使用が引き起こしかねない身体面、精神面及び生活面への悪影響に関する対策を総合的に推進するため。

### 主な答弁

- ▶各家庭の状況に合わせて柔軟に判断し、話し合う機会を作ってもらうことを想定している。
- ▶子どもの睡眠時間が削られる問題に対して強いメッセージを出し、社会的な問題として捉えていくことを狙いとしている。
- ▶何かを制限するわけではなく、啓発活動を行うための目安。各家庭に入り込んで指導する考えはなく、いろんな形で家族が話し合うきっかけにしてほしい。

### 反対意見

不登校や引きこもり等の事案についての手立てを講じる必要はある。本市の現状を把握せず、科学的根拠がないまま、全市民対象にも関わらずパブリックコメントも未実施。市民の余暇時間についてスマホ使用の目安時間を条例で提示することは、大きなお世話である。

### 賛成意見

スマートフォン等の過度な使用による生活習慣の乱れや健康への影響を懸念し、啓発と支援を行うことが目的の理念条例。行政が一定の方向性を示し、市民に考える契機を提供することには一定の意義がある。

### 委員会での賛否結果

可否同数(賛成3 反対3)により、委員長採決の結果、原案のとおり可決。



### 本会議

『附帯決議』← 賛成多数(賛成12 反対7)  
市長及び関係部局に対して、以下5点について誠実に  
対応することを求めた。

- 1 市民の自由と多様性の尊重
- 2 誤解を招かない丁寧な説明と情報提供
- 3 子ども、保護者との連携と支援
- 4 継続的な市民からの意見集約の機会の確保
- 5 条例の効果検証と見直しの仕組み

令和7年10月1日から施行。

# 令和7年 議会の活動状況

## ●議会活動の概要

豊明市議会では平成24年に議会基本条例を制定し、通年議会を実施しています。令和7年5月15日から令和8年4月28日までの349日間は令和7年定例会の会期となっています。このほかに「議会運営委員会」や「全員協議会」なども随時開きました。

また、令和7年1月1日から12月31日までに議会で審議した議案は、市長提出案件が93件、議員提出案件が4件であり、提出された請願が4件、陳情が14件でした。

### 1. 本会議開催状況

会 議 名	議会期間	日 数	本会議日数	傍聴者数
1 月 緊 急 議 会	1月23日	1日	1日	1人
3 月 定 例 月 議 会	2月26日～3月25日	28日	7日	26人
開 会 議 会	5月15日	1日	1日	0人
6 月 定 例 月 議 会	6月2日～6月24日	23日	6日	40人
9 月 定 例 月 議 会	8月25日～9月22日	29日	6日	80人
1 2 月 定 例 月 議 会	11月26日～12月19日	24日	6日	21人
合 計		106日	27日	168人

### 2. 委員会等開催状況

委 員 会 名	開催数
常 任 委 員 会	30回
特 別 委 員 会	6回
議会運営委員会	24回
全 員 協 議 会	12回
会 派 会 議	14回
常任・特別委員会 行政視察	6日
その他の会議	61回

### 3. 議決状況

市 長 提 案			議 員 提 案		
地 方 自 治 法 第 9 6 条 関 係 (15号を除く)	条 例	36件	条 例	2件	
	予 算	32件	規 則	0件	
	決 算	8件	修 正 議 案	0件	
	そ の 他	7件	意 見 書	1件	
専 決 承 認 案 件		0件	決 議	1件	
そ の 他 (人 事 案 件 等)		10件	そ の 他 (動 議)	0件	
合 計		93件	合 計	4件	
議 決 状 況	可 決	85件	議 決 状 況	可 決	4件
	修 正 可 決	0件		否 決	0件
	否 決	0件			
	認 定・同 意 等	8件			
	撤 回 承 認	0件			
	継 続 審 査	0件			

# 12月定例月議会議案等の審議結果

12月定例月議会は、11月26日から12月19日までの24日間にわたり開催し、令和7年度の議案20件、請願1件、陳情6件などを審議しました。

※議長は採決に加わらない ○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択 欠：欠席

議案名 (概要)	審議結果	会派名・議員名																			
		清和						市民派の会		未来クラブ		公明党		共産党	日本	たんぼ	清澄	ひまわり	クラブ	市政	青島
		岡島ゆみこ	青木けんじ	鷓飼貞雄	いづみこし	服部龍一	毛受明宏	近藤ひろみ	浅井たかお	こんごうのおお	林ゆきひろ	中堀りゅういち	武谷としお	鈴木智和	一色美智子	郷右近修	ふじえ真理子	清水義昭	堀内ちほ	三浦桂司	月岡修一
人権擁護委員候補者の推薦 (近藤 厚子(沓掛町)を任命、任期は3年)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の買入れ(三崎小学校用地) (三崎小学校用地(約7,692㎡)を随意契約にて購入 約2億320万円)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
豊明市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 (人事院勧告等に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正 (人事院勧告等に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
豊明市職員の給与に関する条例の一部改正 (人事院勧告等に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度豊明市一般会計補正予算(第5号) (給料、職員手当等 約2億3,260万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (給料、職員手当等 190万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
第6次豊明市総合計画基本構想 (豊明市総合計画条例第6条の規定による議会の議決)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
市道の路線廃止 (県道名古屋岡崎線の整備により5路線を廃止)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市道の路線認定 (県道名古屋岡崎線の整備により5路線を認定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 (人事院勧告等に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
豊明市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 (人事院勧告等に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
豊明市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 (健康医療福祉拠点地区計画区域内における建築物及びその敷地に制限を定める改正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
豊明市消防団条例の一部改正 (機能別団員制度を創設するため改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度豊明市一般会計補正予算(第6号) (報酬、職員手当、扶助費等 約7億8,890万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
令和7年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (子ども・子育て支援金制度システム整備に係る電算関係委託料 約1,170万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	

議長

議案名 (概要)	審議結果	会派名・議員名																		
		清和						市民派の会		緑クラブ		公明党		共産党	たんぼほ	清澄	ひまわり	クラブ	市政	青巖
		岡島ゆみこ	青木けんじ	鵜飼 貞雄	いとひろし	服部 龍一	毛受 明宏	近藤ひろひで	浅井たかお	こんどうのぶお	林ゆきひろ	中堀りゆういち	武谷としお	鈴木 智和	一色美智子	郷右近 修	ふじえ真理子	清水 義昭	堀内 ちほ	三浦 桂司
令和7年度豊明市介護保険特別会計補正予算(第2号) (報酬、職員手当等 約1億8,610万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (報酬、職員手当、子ども・子育て支援金制度システム整備に係る電算関係委託料等 約2,030万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
令和7年度豊明市下水道事業会計補正予算(第2号) (ウォーターPPP導入可能性調査等に係る費用の科目変更等)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
令和7年度豊明市一般会計補正予算(第7号) (物価高対応子育て応援手当費等 約2億1,070万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

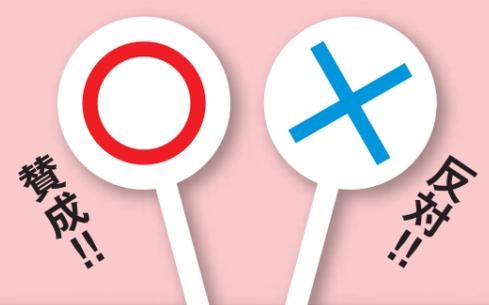
■ 請願・陳情

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
医療現場の危機打開に向けた財政支援を求める意見書の提出に関する陳情	不採択	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
保育士・学童保育支援員の処遇改善に関する陳情	不採択	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
介護・障害福祉分野における処遇改善と公的支援の強化を求める意見書の提出に関する陳情	不採択	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情	不採択	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情	不採択	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
電池・充電機等のごみ出し方法の見直しと周知についての陳情	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	-	趣	趣	趣	趣	趣

※委員会得不採択と決した6件の請願・陳情は、本会議で採択について諮ったため、それ以外の意思表示は諮らず、「-」で表記されています。  
 ※委員会趣旨採択と決した1件の陳情は、本会議で趣旨採択について諮ったため、それ以外の意思表示は諮らず、「-」で表記されています。

主な  
議案審査の  
中から

# 何がどのように決まったのか



## 総務委員会

### 議案第88号豊明市消防団条例の一部改正について

#### 1 議案が提出された背景

この案を提出するのは、豊明市消防団に機能別団員制度を創設するため必要があるからです。第4条において、団員の種類を基本団員及び機能別団員といたします。第2項において、基本団員の定員を181人とし、第3項で機能別団員を市長が定める特定の消防事務を処理する団員とし、定員を30人といたします。第4項及び第5項で、公務災害補償と退職報奨金の支給に関する共済掛金を算定するための定員を定めます。

#### 2 主な答弁

- 機能別団員というのは、能力や個人の事情に応じて特定の活動のみ参加する消防団員の制度です。
- 団員は18歳以上の方を対象にしていますので、大学生が対象です。訓練等に出勤した場合、日額3,500円を支払う予定です。
- 大学1年生、2年生、3年生で各10名の想定です。
- 市内に在住されている方でしたら入団可能としています。

#### 3 議案に対する主な意見

##### ○の意見

従来の団員の定員が割れているのこともしっかり確保していただきたいです。若い力を借りることは今後必要です。豊明市でもどこの分団もなり手不足が顕著になっております。この機能別団員を活用していただきたいです。少しでも若い新しいひとの協力を仰いで市民の安心安全を確保していただきたいです。賛成。

**決** 全会一致により、原案のとおり可決しました。

## 健康福祉委員会

### 令和7年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

#### 1 議案が提出された背景

令和8年4月分より子ども子育て支援金制度の実施に伴い、国民健康保険による賦課徴収を適切に運用するためのシステム改修を開始します。全世代から支援金の拠出を受け、子育て世帯に対する給付の拡充を行う制度です。システム改修は賦課徴収という複雑性と対象者により異なる賦課をかけるものであり、納付書等も全て変更となるので、今回の改修費用は約1,167万円の予算規模として設定されています。

#### 2 主な答弁

- 年齢によって税率については異なります。
- 令和8年度の支援金額は月額250円、そこから段階的に上げていくこととされており、令和10年度までに月額400円程度とされており。
- 一般会計より遅れての上程は1月からの改修対応で間に合うということを確認済み。

#### 3 議案に対する主な意見

##### ×の意見

国会でもいろいろ問題視しており、独身税ではないかということで廃止等も検討されています。支援金という名のもとに事実上増税するような形になる。制度自体に賛成しかねるので反対。

##### ○の意見

複雑なシステム改修になるということで、今回の議案はシステム改修の是非を問うものであり、ある程度の額は仕方ないと感じて賛成。

**決** 賛成多数で可決。支援金を徴収するための必要なシステム改修です。

## 建設文教委員会

### 豊明市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

#### 1 議案が提出された背景

この案を提出するのは、健康医療福祉拠点の実現のため、地区計画区域内における建築物及びその敷地に制限を定めるために必要があるからです。

#### 2 主な答弁

- 建築制限によって周辺住民や土地利用者への影響は、開発や整備での変化で、周辺の交通環境、環境面、地域住民の生活に相応の影響を及ぼすことは十分に考えられる。その点に配慮した条例の改正である。
- 都市計画提案制度提出前に藤田学園から地域住民、地権者に説明がされた。詳細は、決まり次第説明をする、と回答があった。今後必要に応じて地域住民等への説明会等で合意形成が図られるものと認識している。

#### 3 議案に対する主な意見

##### ×の意見

防災機能の拠点だとか健康医療福祉地区で高度な医療の研究開発というのは大いにすごいことだと思うが、一番に求めたいことは、豊明の将来の発展にどうつながって行くかが肝になると思う。本会議質疑や委員会での答弁を聞き、それが描き切れていないと感じるので反対。

##### ○の意見

病院や福祉施設、防災拠点などが整備されることで、市民にとって安心して暮らせる基盤が整うことは大きな意義があるので賛成。

**決** 賛成多数により、可決しました。

# 一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について17名の議員が質問に立ちました。その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。



## いとう ひろし 議員

### ICT教育と働き方改革について

#### 質問の趣旨

海外の教育先進国は日本より早くにタブレットを利用した教育に取り組んだが、現在は紙ベースに戻っているが御存じか。児童生徒の学力は上がっているのか。宿題のない学校があるが、学力に差は出ないか。部活動が減り、教員の働き方改革は進んでいるのか。タブレットが児童生徒の心身への影響は。

#### 答弁

海外の動きは承知している。テストの点が飛躍的な伸びはないが、学習活動の広がりを実感。自分で必要な学習を見つけ進めるように指導している。部活動は民間委託業者へ委託し教員の負担は軽減。タブレットは長時間使用の弊害を示し、過度な使用とならないように留意し指導している。



#### コメント

塾の先生等から、漢字が書けない、書き間違いや汚文字な生徒が増えている話を伺いました。  
・辞書を引く→語彙力と忍耐力  
・何度も書く→書き順や記憶力  
・討論する→人間関係や会話力が養われると思います。何をICTに任せ、何をアナログで残すか。時間を掛ける学びまでもが効率化している気がします。

## ふじえ 真理子 議員

### 手話に関する本市の施策事業の推進を求めて

～誰もが社会参画できる体制づくりを～

#### 質問の趣旨

手話施策推進法が昨年6月に施行。本市の最上位目標と取組の現状は。身体障害者手帳（聴覚）所持者の生活実態把握のために手話言語に関するアンケート調査を求めた。避難所にコミュニケーション支援ボードの設置、手話で初動対応できる職員の養成を提案。手話言語条例（仮称）制定について市の考えを聞いた。

#### 答弁

障害の有無に関わらず、孤立せずその人らしい生活を送れ、誰一人取り残さないまちづくりを目指す。要望があれば市窓口で話を伺う。手話通訳者がいる状態が望ましいが常時配置は難しい状況。職員は職務を全うしながら自己研さんでできるよう指導していく。県条例に沿って普及を進め単独条例の制定を含め考えていく。



#### コメント

外国語に加え手話も一つの言語として市が率先垂範で広めよう。パフォーマンスではなく、手話対応可能な職員養成、積極的にアプリ活用、避難所等にコミュニケーション支援ボード配布など当事者に届く手立てを！受け身でなく当事者へのアプローチを。ほか、住宅防犯対策用具設置補助メニューの充実を求めた。

## 服部 龍一 議員

### 災害時におけるトイレ事情について

#### 質問の趣旨

災害、特に大規模地震が発生した際に重要な項目の一つとして、トイレ環境が挙げられます。トイレの使用を控える事が、体調を崩す原因にもなります。災害が起これば、トイレも被災します。健康を守るためには、安心して使用できるトイレが必要です。本市の災害時におけるトイレ事情について質問しました。

#### 答弁

大規模地震発生直後に自宅トイレを使用する際は、トイレや配管等の損傷を確認し、市役所の情報で下水道が使用出来るかを確認後、使用していただきます。簡易トイレ（ワンタッチトイレ）は、各避難所に7セットから11セット備蓄してあります。トイレカーは、各避難所に1台ずつ、合計13台確保します。



#### コメント

本市においては、下水道の耐震化、各避難所への簡易トイレ等の備蓄、マンホールトイレの整備、トイレカーの配備など着実に整備がされていると認識しました。しかし、実際には様々な状況が想定されますので、まずは、各家庭でも簡易トイレ、若しくはビニール袋とし尿を固める凝固剤の用意が必要です。

## 武谷 としお 議員

### 使用後の電池・充電電池の分け方・出し方について

#### 質問の趣旨

リチウムイオン電池を内蔵したモバイルバッテリーが発火、発煙する事案が全国で相次いでいます。また、本市においてはボタン電池、コイン電池、モバイルバッテリー等の回収方法がいろいろ異なっており、処分にお困りの市民の方がいます。どういった検討課題や事業計画があるのかを質問しました。

#### 答弁

モデル収集事業の結果を踏まえて、今後の電池類の捨て方やその区分を、市民の方が迷わずに安全に出していただけるように見直してまいります。収集時におきましても、東部知多クリーンセンターでの火災事故が起きない回収方法を検討し、事業を計画してまいります。



#### コメント

全ての電池類の処分方法について、市民の方にとって出しやすく分かりやすい仕組みが必要です。早急に事業化を実現していただきたいですが、収集車や東部知多クリーンセンターで万が一火災事故が起きた場合、市民生活に影響が出ないようお願いしました。ほかに公園の今後の在り方について質問しました。

## 三浦 桂司 議員

### 2026年予算要望など (市長への予算要望書などから)

#### 質問の趣旨

令和7年度に豊明乱舞さん、愛笑むさんを広報大使、豊明高校イラストレーション部を観光大臣に委嘱した。委嘱された方々が、やる気になって継続的に豊明市をPRしていただくようなサポートを考えているか。

豊明夏まつりで広報大使に委嘱された、愛笑むさんと豊明乱舞さん



#### 答弁

豊明市広報大使は、それぞれの芸能活動の中で、実績を基に委嘱している。豊明市のPRを伴う芸能活動などで、サポートが必要な場合には、個別に相談して支援を決めていきたい。

豊明市観光大臣は、引き続き幅広く、ごみ分別や公共交通、防災防犯などへ啓発活動の了解をいただいている。



#### コメント

その他の質問は、  
・側溝の整備や白線引直し、街路樹の草刈り  
・ドローンを活用した防災対策  
・チョイソコとよあけ停留所増  
・見守り隊の人へ夏冬への支援  
・外国籍の人へ日本語指導強化

## こんどう のぶお 議員

### 市民に開かれた審議会・委員会等にするために

#### 質問の趣旨

8月にマスタープラン策定委員会が開催されました。知人の到着は開始時間2分前で傍聴不可と言われ困惑されていました。委員会に諮りやっ

#### 答弁

市長の答弁として、先日、会議体において私の考えを伝えました。傍聴しやすい状況をつくるのがあたり前なので、それは徹底させます。傍聴しやすい環境を私たちは努力してつ



#### コメント

他県では最後に傍聴者にも意見を求めて聞く自治体もあります。市民公募も傍聴者も同じ市民であります。興味があるから来ているのです。多様な意見を聞く姿勢を目指していただきたいと思います。また、結婚、子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境についても質問しました。

## 月岡 修一 議員

### 1. 豊根村との自治体交流について 2. 豊明市の「木」樫の将来の位置づけについて

#### 質問の趣旨

令和8年度は上高根棒の手の皆さんが豊根村に交流に行かれる予定と聞いています。是非とも棒の手の演舞者の皆さんを豊根村に派遣していただきたい。豊明市の「木」樫の将来の位置づけについてどのように考えているのか。植栽から50年が経過し台風などで倒木の可能性もあり質問した。

#### 答弁

今現在は、自治体間交流が縮小されていますが、今後豊根村から豊明市側に団体の出演依頼があれば、上高根棒の手保存会にお願いする方針でいます。樫は並木効果で景観に統一感をあたえています。老木、大木化して維持管理費もかかり、枯れ木や老木を撤去する場合があります。



#### コメント

豊根村の人口減少が進んでいます。豊根村との交流が以前のように盛んに行われることを願っています。樫は、年1回樹形を整えるために透かし剪定にて維持管理をしているとのこと。是非とも台風災害等による老木の倒壊にも配慮した維持管理をお願いしたい。

## 鈴木 智和 議員

### 「ヘルプシール」の導入について

#### 質問の趣旨

本市では既にヘルプマークやヘルプカードの配布、周知に取り組んでいる。しかし、日常生活の中で、もっと手軽に、もっと見やすい形で意思表示ができる方法があれば支援の輪はさらに広がる。そこで「ヘルプシール」を導入すれば、障がいのある方や支援を必要とする方への外出や行動の環境づくりになる。

#### 答弁

ヘルプマークと同様に、ヘルプシールを身につけている物へ貼ることによってどのような支援を必要としているか知る事につながると考える。理解してほしいことや配慮してほしいことを言葉にしたコミュニケーション支援として有効な手だてのひとつとなっていることから、本市も導入することを前向きに検討していく。



#### コメント

先行自治体の知見を生かしつつ、豊明市としての工夫ができる余地を検討し、追加の予算措置も必要とせず、既存の仕組みを最大限に活用しながら進めていこうとする点に、担当課の努力と創意工夫、「豊明オリジナル」を創り上げたいという気持ちを感じた。他、「電話リレーサービス」の周知について質問した。

一色 美智子 議員

人生会議の普及・啓発について

質問の趣旨

- ・人生会議（ACP）の認識・市民の認知度について伺う。
- ・医療・介護従事者に対するACP研修の実施について伺う。
- ・エンディングノートの使用状況について伺う。
- ・市民向けの広報・講演会の実施について伺う。

答弁

- ・重要な取組であると認識しているが、市民の認知度については低い状態である。
- ・定期的に研修を行い、看護師が講演会を行ったり、勉強会も行いました。
- ・平成30年から作成し、1万冊配布し、令和7年度分を増刷、配布を開始。
- ・ホームページで啓発、11月30日の人生会議の日の機会を捉え広報で周知。講演会についても検討する。



コメント

人生会議とは、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）と言います。自分の最期が近づいてきた時の医療・介護について前もって考え、日ごろから家族と話し合うことを言います。この他に「薬物乱用から若者を守るために」について質問を行いました。

林 ゆきひろ 議員

子どもたちに多様な学びの場の充実を

質問の趣旨

不登校児童生徒が増加する中、全ての子どもたちに教育を受ける機会が必要です。豊明市では校内フリースクール等を実施しているものの、学校外の学びの場を利用するケースは極めて少ない状況です。多様な学びの場の掘り起こしやガイドラインの整備等、子どもたちの学べる環境の整備を求めて質問しました。

答弁

様々な方に協力いただき、居場所の掘り起こしをしている。民間フリースクールの出席扱いの基準は必要と考えるが、出席方法が曖昧な部分もあり、難しい作業と考えている。近隣自治体で補助の事例も承知している。オンライン学習の出席制度については十分な認識はなく、研究して、今後の課題としていきたい。



コメント

市内民間フリースクールは1か所のみ把握。出席基準も未整備。授業料補助やオンライン学習の出席制度も全国的に広がりつつありますが、本市ではまだ検討段階。スマホ条例よりも本件を早急に取り組むべきです。その他、間米南部開発の進捗状況や公共交通計画の抜本的見直しについて質問しました。

岡島 ゆみこ 議員

これからの人生設計に向けた意識啓発について

質問の趣旨

高齢化による、介護や生活支援を要する方への対応が必要。「支援が必要となる前の層」への意識づけも重要。独居高齢者や子のいない夫婦など、将来の生活を自ら設計しなければならぬ層に対し情報提供と啓発を行う必要がある。“自分のこれから”“最期をどう迎えるか”は「自分らしく生きること」に繋がる。

答弁

独居高齢者は今後10年で約500人増える見通し。相談窓口には既に困りごとが現実化しているケースが多い。エンディングノートは40代からでも活用可能。「長寿の学び場」は年10回開催。要介護認定前の高齢者に向け講座を実施。エンディングノートの普及啓発や市民の関心に沿った講座内容としていく。



コメント

誰にも迷惑をかけず最期まで完結させることは不可能です。だからこそ元気なうちの備えが必要です。意思を伝えられなくなった時家族や救急隊が的確に判断できる“自助”の取組として、緊急情報や自分の希望する対応等を、記入した自分管理ノートを任意で玄関先に置く“豊明ルール”を提案した。

## 中堀 りゅういち 議員

### 保育士の処遇改善と業務負担の軽減について

#### 質問の趣旨

保育士は、子ども達の安心と健やかな成長を見守る最前線の専門職です。質の高い保育を豊明市民皆様へ提供し続けるには、処遇改善という根本的な対策と現場で過度な負担を感じないよう業務を軽減する取組が欠かせません。保育士の声を最大限反映させることが肝要と考察します。現状を鑑みて今後の取組等はございますか。

#### 答弁

今後の取組については、民間の保育園もございますので、それぞれの園でも検討していただくことになるかと考えます。公立園については、中堅保育士職を中心に、現場で働く保育士と共に考えてまいりますので、その検討の中から具体的な改善の取組がなされるものと考えております。



#### コメント

現場の声を尊重し、公立園の中堅保育士を中心に具体的改善を検討する方針は前向きだと考察いたします。民間園との連携を含む検討は、処遇改善と業務負担軽減の実現に寄与すると期待します。今後の透明な進捗に注視してまいります。その他に「国・県からの照会業務などの急増について」を質問しました。

## 青木 けんじ 議員

### コミュニティー備品など、市が保有する備品・資材・機材の貸出しについて

#### 質問の趣旨

市が保有しているコミュニティー備品などを市民や団体に貸出ししているが、特に利用の高いものはどういったものか。利用の多い品目について保有数を増やす考えはないか。災害時用の資機材を平時に貸し出すことは出来ないか。市が保有予定のトイレカーを他の公用車と同様に貸し出すことは出来ないか。

#### 答弁

貸出し頻度が高いものは、テント、椅子、テーブルなど。通常の使用で不足するものは保有数を増やすことも今後検討したい。段ボールベッドや簡易トイレなどを防災訓練等で貸し出している。トイレカーは貸し出す考えはないが、各種防災の出前講座に市職員が運転して持込み、実際に御利用いただくことは想定している。



#### コメント

市が保有する備品などは、せっかくなので多くの方々に有効に使っていただきたい。災害時用の資機材も平時にも触れて慣れていただくことも有益ではないか。トイレカーを業者から借りて利用している地域の夏祭りに参加したが、お子さんや女性の方からの評判が良かったと伺った。

## 堀内 ちほ 議員

### 大人用おむつ選びの専門家育成と、「おむつ講座」開催について。

#### 質問の趣旨

「おむつフィッター」、「おむつマイスター」は、排泄ケアに関する知識を持つ人です。先日、知人が末期がんを宣告され自宅療養を選択されました。老老介護が始まり、家族は力任せでおむつの着脱をされ、腰痛となってしまいました。本市でもおむつの知識を身に着ける講習会等の開催のお考えは。

#### 答弁

おむつの選び方や正しい使い方等、おむつに関する基本的な知識と、おむつの装着に関する普及と啓発は大変重要であるという認識をしております。家族介護者向けの介護教室をはじめ、一般介護予防事業で地域サロン等を通じて、おむつの知識等の啓発をしてまいりたいと考えます。



#### コメント

昔、30年ほど前、私と母は、まだ「認知症」という病名も無い時代、自宅で「痴呆」と呼ばれる祖父の介護をしていました。体の小さな母に大きな体の祖父のおむつ交換は、とても大変なものでした。でも、コツさえ覚えれば、介護する側もされる側も楽になるものなのです。

浅井 たかお 議員

## 事業所の騒音・粉塵などの公害を放置するな

### 質問の趣旨

地域の住民からいろいろな問題について相談がある。最も深刻な問題は、事業所から出される騒音や振動などの公害で、かなり長期にわたっており、その間に耐えられなくなった住民が他へ引っ越す事態も発生。当該事業所敷地内の建築物に違法建築の疑いも指摘されているが状況が変わらず、市の対応について質問した。

### 答弁

公害の原因を特定し、基準内に収まるように指導していく。市として建築基準法や都市計画法違反の疑いがある案件の存在は把握している。騒音規制法、県条例、悪臭防止法に基づく指導。状況により命令、勧告に必要な措置を講じて解決に向け取り組んでいく。違法建築物も是正されない場合、それぞれの措置を行う。



### コメント

日常的に騒音や振動、悪臭、粉塵を繰り返し発生させる事業所が周辺にあると、安住の場である自宅で心穏やかではいられなくなってしまい、健康被害を含めて、日々の生活に多大な支障が出てくる。口頭だけの指導ではいつまでも解決しない。期限を区切って、県と連携してしっかり解決をしていただきたい。

鵜飼 貞雄 議員

## 区・町内会の現状と今後について

### 質問の趣旨

自治会は私たちが安心して暮らすために必要不可欠な存在で、不安な場合に頼りになるのは近所の人たちです。また、各行政区には市の事務の一部を委任しているため、市行政の円滑な運営のため重要な役割を果たしております。持続可能なまちづくりのため、いま何が必要なのか把握しなければなりません。

### 答弁

業務負担軽減において、市からの依頼事項では、会議回数の削減など環境は改善されていると考えています。地域で行っている会議や行事の頻度各種当番のあり方については効率的な組織運営や事業内容となるよう区長連合会の場を活用して、各種好事例の共有を促し運営方法等の改善につながるよう支援を続けたい。



### コメント

自治会の会員や役員のなり手不足が深刻化しています。現役世代が地域活動に参加する切っ掛けをつくり、成功している自治体もあります。潜在的に地域活動に参加する意識が高い方々も多くいらっしゃるため、人材資源の発掘は急務と感じます。多世代で自治会を盛り上げ、持続させるべきであると考えます。

郷右近 修 議員

## 自転車とパーソナルモビリティについて

### 質問の趣旨

高齢化が進み、移動支援という考え方が社会に広がっている。車両を公的に運行する公共交通の充実が必要だが、自分で必要な行動をしたいと考える高齢者も多い。「昨今の一人で移動すること」に用いられる車両の保有状況や歩道についての傾斜のこと、公共施設の駐車（駐輪）場所について質問した。

### 答弁

3輪、4輪の自転車とそれぞれの電動アシスト自転車、シニアカーについては把握していないが、電動キックボードのうち、特定小型原動機付自転車は11月時点で24台。歩道は歩行者優先で、シニアカーのために平坦に近い部分を確保したり、勾配を緩くしたりするような整備を実施するよう心掛けている。



### コメント

公共施設では3輪、4輪自転車、特定小型原動機付自転車は駐輪場に止めることができ、シニアカーは止める場所があるが、乗り入れもできるということだった。安全で円滑な交通を実現するには、主要な道路全てに自転車通行帯を整備し、余裕のある都市構造にする必要があるのではないかと考えた。

開かれた議会を目指して

豊明市議会

# 議会報告会

日時 2026年 2月1日(日)  
10:00~12:00 (開場9:30)

場所 市役所ホール  
(豊明市役所 本館2階)



議会報告会を開催します  
どなたでもご参加いただけます  
皆様のお越しをお待ちしています



アラカルト

## 市民と市議会

皆さんの希望や意見を直接、市政に反映させるための手段として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

また、議員が議案などをどのように審議し、議決しているかを見るために、議会を傍聴することができます。

### ● 請願及び陳情の提出方法

請願書・陳情書は、市政についての要望などを簡潔に記載し、提出年月日、提出者の住所・氏名を書き、印を押したものを議長に提出することになっています。

なお、請願書を提出するには、1人以上の議員の紹介が必要です。(陳情書は、紹介議員は不要です。)

### ● 本会議の傍聴

本会議は、公開が原則で、どなたでも自由に傍聴することができます。

議場の傍聴席は、一般席が48席あります。

### ● 委員会の傍聴

委員会の一般傍聴と請願等に関する関係者の傍聴は、会議の進行や傍聴席等の状況に応じて委員会に諮って決定されます。

委員会の一般傍聴は、15人以内です。

### ※ 傍聴の受付

本会議や委員会は通常、午前10時から開かれます。

傍聴は、会議当日の開会20分前から受け付けを開始します。

傍聴希望者が多い場合は、席の都合により抽選することがあります。



## Topics

豊明市・上松町友好自治体議員合同研修会

開催 11/5・6

11月5・6日に第16回友好自治体議員合同研修会が長野県上松町にて開催され参加させていただきました。本市からは議員11名が参加しました。上松町は、長野県の南西部のほぼ中央に立地し東西に長い地形で人口は約3,800名。今冬では熊の被害が報告されていました。水源豊かな河川と渓谷と木曽の豊かな水量を利用して水力発電の売電を行っていました。また、農業、林業の再生や空き家再生事業や養豚事業を始めており、豚の出荷頭数は年間2万4千頭の出荷をしていました。

1日目は、木曽産のヒノキ造りの庁舎で意見交換会を行いました。上松町からは、本市の議会報告会や意見交換会への取組の質問がありました。本市からは自然エネルギーの活用について多くの質問をしました。

2日目は、寝覚の床周辺の整備状況及び赤沢自然休養林と第63回御杣始祭会場の見学、また赤沢会館にて御杣始祭の動画による説明がありました。

木曽森林管理課長の説明では、1300年の間20年に1回、伊勢神宮の厳しい基準に合格した御神木を納めており、木曽のヒノキは寒さに耐え他の地域よりも固いことで有名ということでした。管理上工夫していることは、野生動物に傷付けられないように赤いテープを巻いているということも説明していただきました。

本市においても、古く続く伝統文化を守って行く決意をしました。



# 総務委員会視察報告

委員長 鈴木 智和 副委員長 こんどう のぶお  
委員 いたう ひろし 武谷 としお 三浦 桂司  
近藤 ひろひで

令和7年 10/20・21

## ■千葉県八街市 八街市役所

地域資源を生かした「市民協働のまちづくり事業」について伺いました。市では、まちづくりの情報を集め、市民、活動団体、事業者、行政などと協働でまちづくりを推進する総合窓口「PiT」を設置しています。採択団体には最大50万円の補助金を交付し、子育て支援や高齢者見守りなど幅広い活動を展開しています。行政が一步引き、市民が主役となって地域づくりを進める姿勢が印象的でした。豊明市でも、市民提案を起点とした活動の推進及び支援の仕組みづくりを検討する上で、大いに示唆を得る視察となりました。



## ■東京都葛飾区 葛飾区役所

「すぐやる課」について伺いました。区民からの苦情・要望に即応するため平成22年に設置され、現場主義・即応主義を徹底し、蜂の巣駆除や道路補修など生活密着型の課題に当日中の完了率85%で対応しています。職員の使命感と現場判断力に支えられ、区民満足度と行政への信頼を高めています。単なる苦情処理ではなく、区民と行政の信頼関係を再構築する現場発信型の仕組みであり、豊明市でも市民活動の推進及び支援とデジタルツールを活用した“豊明流すぐやる課”の導入を検討する価値があると感じました。市民の声を素早く受け止め、庁内横断的に解決へ導く体制を整えることで、より住民に寄り添う行政運営が期待できます。

# 健康福祉委員会視察報告

委員長 岡島 ゆみこ 副委員長 中堀 りゅういち  
委員 鶴岡 貞雄 服部 龍一 林 ゆきひろ  
清水 義昭 堀内 ちほ

令和7年 10/27・28

## ■戸田市健康福祉部健康長寿課

### 【「介護ロボット等導入支援事業」視察】

埼玉県戸田市では、介護現場の人手不足や職員の負担軽減を目的に、介護ロボットやICT機器の導入を支援する補助制度を設けています。県の制度より対象を広く、申請期間も通年とすることで、小規模事業所でも利用しやすく工夫されています。補助上限は一事業所あたり10万円。導入は主に情報共有を目的としたICT機器が中心で、今後は周知の工夫が課題です。若い世代が多い戸田市でも将来的な介護人材の確保が課題とされており、早期の対策として先進的な取組と感じました。



## ■大田区福祉部 福祉管理課

### 【「老いじたく情報登録事業」視察】

東京都大田区では、本人が意思を伝えられなくなった場合に備え、医療や終末期の希望、遺言書やエンディングノートの保管場所などを区に登録できる「老いじたく情報登録事業」を令和6年から開始しました。登録情報は、医療機関や警察、区の福祉機関などが必要時に照会でき、本人の意思を尊重した支援につながります。高齢者の単身・夫婦世帯の増加を背景に始まった制度で、全国でも先進的な取組です。区民からも好評で、安心して人生の最終段階を迎える仕組みづくりとして注目されます。



# 建設文教委員会視察報告

委員長 青木 けんじ 副委員長 浅井 たかお  
委員 月岡 修一 毛受 明宏 一色 美智子  
ふじえ 真理子 郷右近 修

令和7年 10/28・29

## ■東京都杉並区 杉並区役所

杉並区の小中一貫校について、地域連携コミュニティースクールについての視察を行った。小中一貫教育では「自立して社会で生き、豊かな人生を送るための基盤の構築」を目的として、小中一貫校だけでなく、すべての学校が杉並区小中一貫教育基本方針をもとに小中一貫教育を推進して、義務教育9年間を連続的な学びの中で学校教育を充実させている。地域連携コミュニティースクールにおいては、学校・地域・保護者が一体となって学校支援を行っており、学区外同士の連携も活発で隣接校、学区域が重なる小中学校でも開催している。



## ■静岡県静岡市 静岡市役所

静岡市が取り組む、公民連携による脱炭素先行地域づくりについての視察を行った。静岡市では2030年度までに、2013年度比温室効果ガス排出量51%削減、長期目標として2050年温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）という目標を掲げている。脱炭素先行地域として、清水駅東口エリア、日の出エリア、恩田原・片山エリアの3エリアを選定し、太陽光、蓄電池、EMS等を導入し、電力消費に伴う実質ゼロの達成を目指す。いずれのエリアにおいても、民間企業が中心となりながら整備を進めている。



日	月	火	水	木	金	土
2/22	23 天皇誕生日	24	25 本会議 (議案上程、提案説明)	26	27 本会議 (一般質問)	28
3/1	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6	7
8	9 本会議 (議案質疑、委員会付託)	10 総務委員会	11 健康福祉委員会	12 建設文教委員会	13 予算特別委員会	14
15	16 予算特別委員会	17 予算特別委員会	18	19	20 春分の日	21
22	23	24 本会議 (委員長報告、討論、採決) 全員協議会	25	26	27	28

※上記は予定のため、日程等が変更される場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

豊明市内在住・在学・  
在勤の方から、  
表紙を飾る写真・  
絵画・イラストを

**募集**します。

ご応募  
お待ちしております！

豊明市にゆかりのあるものや、  
季節感のある作品を  
お待ちしております。

応募方法は、右記QRコードからご  
確認ください。  
表紙は議会だより編集委員会で選定  
し、採用された方にはご連絡いたし  
ます。5月1日発行分の締切は3月  
6日(金)です。



宛先

〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1  
豊明市議会 議会だより編集委員会

メール

gikai@city.toyoake.lg.jp

**編 集  
後 記**

今回の特集ページでは、「市民と議会との意見交換会」と「豊明市スマートフォン等の適正使用の推進に関する条例の制定について」を取り上げさせていただきました。「市民と議会との意見交換会」では、中学校区ごと3つの地域で開催し、地域の方々より、貴重なご意見・ご要望を拝聴できました。「豊明市スマートフォン等の適正使用の推進に関する条例の制定について」は、制定までの経緯を示させていただきました。(青木)

発行：豊明市議会  
編集：議会だより編集委員会

電話：0562-92-1121

メール：gikai@city.toyoake.lg.jp

詳しい情報は豊明市議会  
ホームページをご覧ください。

豊明市議会 検索



市議会HP

次回の議会だよりは5月1日発行